

令和7年度 都城市立南小学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立南小学校		校長名	田中 美充	
学級数	21学級	児童生徒数	457名	職員数	39名
教育目標	知性をそなえ、心豊かにたくましく生き、ふるさと都城を大切にする児童の育成				

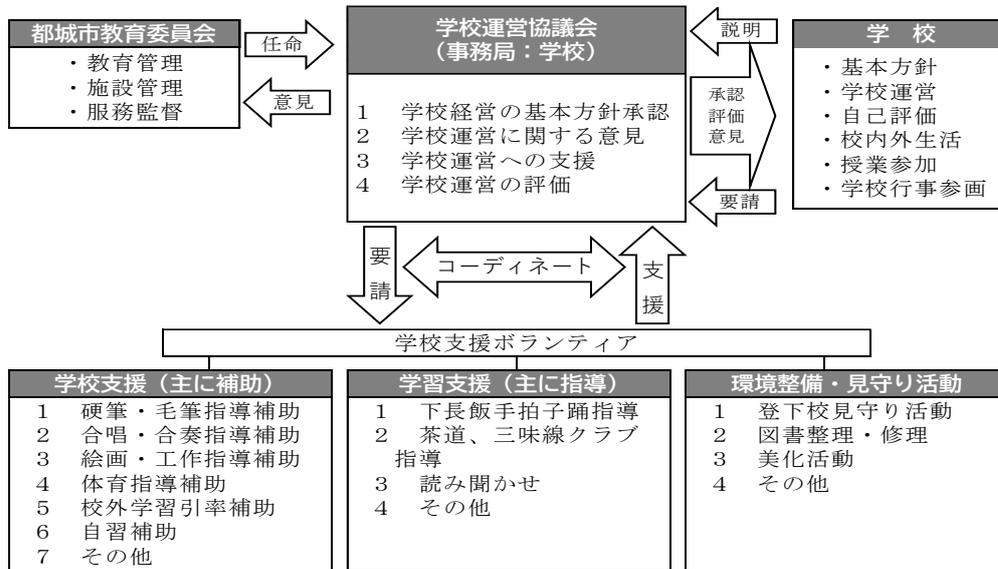
2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員（計9名）事務局（計3名）

No.	所属名（役職）	氏名	備考
1	相愛保育園統括園長	高木 かおる	会長
2	下長飯公民館長	谷口 利美	
3	早鈴公民館長	和田 正英	
4	姫城地区主任児童委員	岩崎 元子	コーディネーター
5	南九州大学子ども教育学科准教授	河野 康男	
6	本校前PTA副会長	久保 博史	
7	都城市PTA連絡協議会事務局職員	池田 絹子	
8	元小学校教諭(過年度南小勤務経験)	柴原 通裕	
9	南小学校PTA会長	田口 勝人	

事務局	役職	氏名
	校長	田中 美充
	教頭	柚木崎 誠
	主幹教諭	上田 智秀

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
4月10日	・入学式臨席
5月 2日	・学校運営協議会委員選出
5月15日	・第1回学校運営協議会（委嘱状交付、学校運営協議会の説明、学校経営等説明）
5月25日	・運動会参観
9月16日	・第2回学校運営協議会（授業参観、3校合同協議、意見交換） ※3校合同
11月27日	・第3回学校運営協議会（授業参観、学校評価の説明、学校の取組報告、情報交換）
1月20日	・第4回学校運営協議会（学校自己評価の説明・協議、情報交換）
2月17日	・第5回学校運営協議会（学校評価報告、学校評価を受けた改善策の検討等）

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

9月：「子どもたちの成長を見守り、子どもたちのためにできること」

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

ア 登下校時の見守り活動

「子ども守りたいボランティア」の方々に、交通量の多い場所での立番や、児童と一緒に歩く登校の見守りなどを実施していただいた。6月初めに1年生と「子ども守りたいボランティア」の方との対面式を実施し、1年生の児童は感謝の気持ちを述べる事ができた。学校運営協議会では、児童の登下校やあいさつの様子について共有することができた。

イ 学習支援ボランティア（地域人材の活用）

地域の茶道教室の先生にお願いして、茶道クラブの指導をいただいた。専門的な取組について貴重な体験ができた。

主任児童委員の方が地域コーディネーターとなり、5年生や6年生の家庭科の学習で、調理や裁縫（手縫い及びミシン）の専門的な指導やアドバイスをいただき、コツをつかむ児童が増えた。



【ミシン指導のボランティア】

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

児童の遊ぶ時間や学年の垣根を越えた交流活動が減少していることに課題があるという意見を受けて、幼保小の交流活動の充実を図った。2年生から1年生へ、1年生から園児へ、手作りおもちゃの工夫を伝えることができた。また、異学年交流の遊びの時間を委員会活動や6年生の卒業プロジェクトで企画し、児童自身が達成感を得ることができた。さらに、6年生の総合的な学習の時間では、「災害が起きた時に何ができるか」をテーマに、避難所での仮想体験をシュミレーションすることにより、自分たちの役割について考えることができた。



【災害時のシュミレーション】

(3) 地域貢献活動

民俗芸能伝承活動である「下長飯手拍子踊り」について、保存会の方々の指導により、5年生が運動会で発表した。学校運営協議会をはじめ地域の皆様に披露できたことや、4年生に受け継ぐ活動を担うことにより、地域の一員としての誇りを高めることができ、地域貢献に携わる意識を高めることができた。

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 学校の学習や生徒指導等の現状や課題について情報共有し、今後の学校の取組について貴重なアドバイスをいただき、学校運営に生かすことができた。
- 姫城中学校区3校による合同協議会を実施したことにより、小中の取組の関連について考えるよい機会となった。
- 学校と家庭、地域それぞれの情報共有を行い、体験活動や交流活動の目的を明確にして、「子どもたちのためにできること」をさらに協議していく必要がある。

7 次年度の方向性

- 本年度、学校運営協議会委員の中から地域コーディネーターをお願いして、学校と地域の方の調整をしていただいた。次年度は、様々な分野でのコーディネートに広げ、「学校と地域をつなぐ」取組をさらに推進していく。